

平成29年度事業計画

1 はじめに

昨年度は、観光情報総合案内所を整備するとともに観光バリアフリーレジャー用品の貸出事業にも取り組み、えさし海の駅の魅力向上を図ったこと、また、北海道新幹線が開業された効果により平成18年度以来10年ぶりに2万人を超える入館者数となりました。最終的な入館者数を2万1千人と見込み前年度に対し14%の伸び、個人入館は10%の伸び、昨年減少した団体は25%の伸びと推計しております。函館市の平成28年度上期における観光入込客数は14.1%の増となっておりますことから開業効果の恩恵を函館市同様に受けていると考えております。

今年度は、北海道新幹線開業2年目となることから道南の観光客入込数は若干の減少傾向になると推察しておりますが、昨年度実施いたしました町内関係機関と連携しての首都圏誘致活動などの効果による観光客入込数の増加を期待しております。

しかし、財団の安定運営にはさらなる取り組みが必要であり、江差町に訪れる観光客の増加が開陽丸入館者の増加に直接的効果となることから、今後の対策につきましても江差町内関係機関と連携し取り組んでいくことが肝要と考えております。

また、財団が設置・管理している地域交流施設（えさし海の駅）と資料展示施設（開陽丸記念館）は築27年目を迎え経年劣化が顕著であります。特に、記念館を含む施設の外観の劣化が進んでおり早期の改修が必要な状況にあります。観光情報案内所等の設置で魅力向上は図られましたが、観光客が安全安心で開陽丸の魅力を堪能していただくこと、さらにはリピーターの確保を図るうえからも早期の改修が大きな課題でありますので計画の検討に取り組んで参ります。

こうした状況を踏まえ、財団の安定的な運営を図るため職員上げて経営改善と入館者確保対策に取り組んでまいります。

2 事業の概要

(1) 経営方針

① 入館者対策について

入館者の入込数は、今年度は新幹線開業2年目となり減少予測も首都圏誘致対策効果等による観光客増加を見込み有料入館者数を2万人と見込みます。

<入館者対策>

- ・ 町内関係団体と連携した首都圏誘致宣伝行動を実施し集客に努める。
- ・ 町内旅館業者、レンタカー事業者及び渡島桧山管内の道の駅に対し入館割引券とパンフレットのセットとポスターを配布し集客に努める。
- ・ 函館市内の観光施設等との連携による集客を模索したい。
- ・ ホームページとフェイスブックを活用し情報の発信による集客に努める。
- ・ 無料ガイドのPRによる開陽丸記念館の魅力向上に努める。(HP発信)
- ・ オプショナルツアーが主流であるが、ツアー観光客の入館誘導に努める。
- ・ 各種割引制度の拡充による入館者の確保に努める。
- ・ 遺物の展示等について、点検を行いながら効果的な配置に努める。

【小中学生の研修旅行】

- ・ 函館市内等入館実績のある中学校に対し礼状送付と研修入館継続の案内による集客確保に努める。
- ・ 渡島桧山管内の入館実績のない中学校に対し研修利用入館について、学習資料(PR用DVD)の配布やガイド説明の充実を訴えながら誘致に努める。
- ・ 学校研修事業企画旅行事業者に対し研修入館の誘致宣伝の実施を検討する。
- ・ 青森市内小中学校及び旅行事業者に対して研修入館誘致を実施する。

【情報発信の取り組み】

- ・ 写真資料、映像資料等の無料提供
- ・ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等を活用した情報発信と取材協力
- ・ 幕末関連観光施設等との連携協力

② えさし海の駅の活用について

- ・ 江差町の観光を総合的に情報発信する拠点として、昨年度新たに「江差町観光情報総合案内所」を整備し、観光客等に対するサービスの充実向上に努め、江差旅を楽しんでいただき「また来たよ」といわれるような海の駅を目指します。
- ・ 今年度は、観光バリアフリーレジャー用品貸出事業を4月からスタートさせ、次年度以降の有料事業化を念頭に取り組みます。
- ・ 売店事業については、「ぷらっと江差」と連携し図録等の販売に努めます。

③ 開陽丸子孫の会との連携協力について

開陽丸子孫の会（会長榎本隆充氏）は、平成7年に設立され会員数90名を超える団体に発展しております。開陽丸の魅力創出と全国への情報発信は重要であり、今後も関係者との交流、連携を図ってまいります。

(2) 青少年研修事業等の推進について

- | | | |
|------------|--------|--------------|
| ① 春と夏の研修事業 | ・ 事業名 | 「開陽丸をもっと知ろう」 |
| | ・ 対象 | 小・中学生 |
| | ・ 実施時期 | GWと夏休み期間 |
| | ・ 内容 | クイズと記念品 |
| ② 秋の研修事業 | ・ 事業名 | 「開陽丸入門」 |
| | ・ 対象 | 中学生以上一般 |
| | ・ 実施時期 | 10月・11月頃 |
| | ・ 内容 | 幕末・維新をテーマ |

(3) マリーナ指定管理業務

- ・ 江差港マリーナ指定管理業務の継続（現契約期間：H27.4.1～H31.3.31）
- ・ 江差港マリーナの管理・運営（浮棧橋・ボートリフター）
- ・ 周辺施設の管理・運営（徒渉池、遊漁池・ジャングルジム等）
- ・ ヨット競技大会及びマリンフェスタ事業等への連携協力

(4) 開陽丸友の会との連携

- ・ 21世紀新聞のホームページ活用
- ・ 研修会開催及び事業協力
- ・ 友の会活動への連携協力（H28年度から事務局事務を補佐）

(5) 開陽丸関係資料の収集と整備

- ・ 開陽丸関係図書の購入保管に努める
- ・ 道南ブロック博物館施設等連絡協議会との連携

(6) その他

① 施設改修等

- ・ 開陽丸記念館内Wi-Fi整備
- ・ 開陽丸記念館内昇降機設置工事（艦内階段）
- ・ 開陽丸記念館内塩害除去フィルター（左側）交換修理
- ・ 管理棟非常階段踊り場手摺修繕
- ・ 管理棟道路側電柱腕金交換
- ・ 浄化槽自動微細目スクリーン分解修理
- ・ 公用車リース

② その他

- ・ 今後の理事会及び評議員会日程について、次のとおり予定します。

<今後の会議日程（予定）>

1 監事監査	平成29年 4月25日（火）午前10時
2 第1回理事会	平成29年 5月16日（火）午前11時
3 定時評議員会	平成29年 5月30日（火）午前11時